

# NO.46 かんじき体験ハイキング

## 1 ねらい

- ・昔から雪の多い地方で日常生活のために使われていた事について興味関心を高め、特性や使い方について理解を深める。

## 2 活動の計画

- (1) 活動期間        1月～3月
- (2) 所要時間        任意
- (3) グループ編成   1グループ10人程度
- (4) 活動場所        別図の山エリア内
- (5) 準備物

〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かんじき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に適した服装</li> <li>・防水性のある靴（長靴）</li> <li>・タオル（汗拭き）</li> <li>・飴等の行動食</li> </ul>

## 3 活動上の留意点

- ・かんじきの数に限りがあるので、グループ数が多い場合は、ローテーションを行う必要があります。
- ・かんじきを装着してスキーコース内へは入らないでください。
- ・ハイキングコースは、体力・人数・活動時間等を考慮して決めてください。

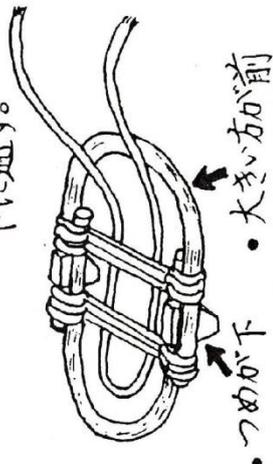
## 4 展開例

区 分	活 動 内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>①活動のねらい、内容、諸注意。</li> <li>② かんじきの装着方法と歩き方。</li> <li>③ コースの概要と資料（野生動物等の観察方法）について。</li> </ul>
活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深雪や新雪では、非常に歩きにくいので注意してください。</li> <li>・安全な場所で「つぼ足」を体験させながら、かんじきの有用性を体感させてください。</li> <li>・発見した動物の足跡等は、消さないように注意してください。</li> </ul>
整 理	◎人数点呼、整理運動、道具の片づけ・汗の始末、感想発表等

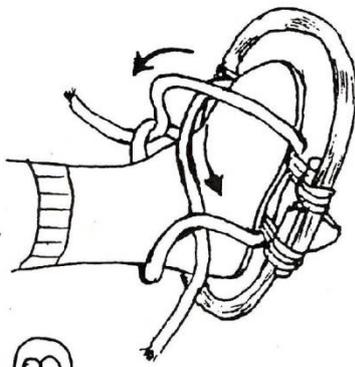
### かんじきのはき方

①

• ひもをふたつお尻にして  
下に通す。



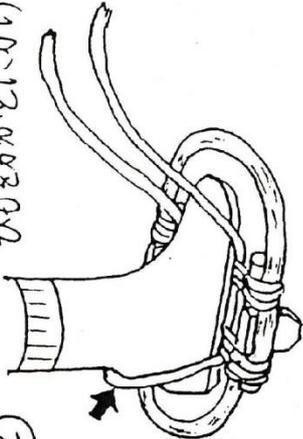
③



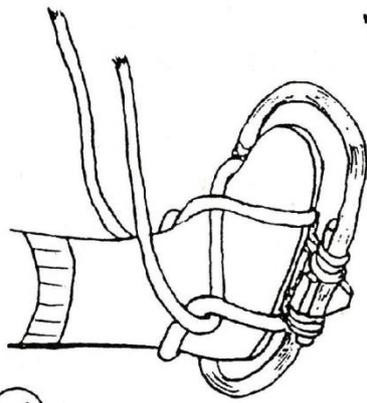
• クロスさせて、おがとのひもに通す。

②

• 足をのせて、  
ひもをおがとにかける。



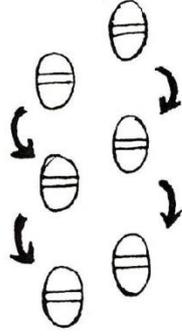
④



• 前にもってきてむすぶ。

### 赤き方

※ ガニマタで!



⑤

